

たいむ

6月号 [H27.6.1発行]

■園庭開放5月27日（水）しました！■

休園日を利用して、今年も園庭開放を行いました。普段たいむを利用されている方ばかりではなく、初めていらっしゃった方や、幼稚園選びをし始めている方など、31組の参加がありました。しかし、“夏日”の日差しは容赦なく、ホースで水を撒きましたが、すぐに乾いてしまいました。子どもたちは、ちょうど芝生養生のためにまかれていたスプリンクラーの水を気持ちよさそうに浴びたり、水撒きのホースから漏れる水を手に泥んこ遊びをしたりする姿も見られました。また、日

ごろから園庭で遊ぶ園児たちは、小さな子に遊具について教えていたり、畑の野菜の苗に水をあげたりしていました。

初めて園庭を訪れたお母さんも、「広くていい」「あの溝は何のためにあるの?」「普段どうやって遊んでいるの?」など、新鮮な様子でした。休園日に、また行いたいと思いますが、通常の保育の場面も「めいとくらぶ」などの機会に見ていただけたらと思います。



■仲間が増えたよ！！■

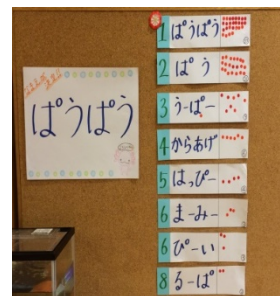
5月8日（火） 飼育コーナーに懐かしの？人気の？あの「ウーパールーパー」が仲間入りしました。なぜウーパールーパーなのかといいますと、「自宅ではあまり飼育していないものが良いね」という理由からです。

でも実は、「ちょっと気持ちが悪いよ～」などスタッフ間でも意見が割れていたのですが、そんなスタッフも今では水槽の番人のように管理をしているので、いつも笑ってしまいます。

さて、赤ちゃんのウーパールーパーに名前をつけよう！ということで、子どもたちを中心に名前を募集し、その名前の中からみなさんに投票してもらい決定しました。投票は名前の所に赤いシールを貼ってもらいましたが、「どの名前が良いかな～？迷っちゃうね?!」と親子で、ときには学生と

一緒に賑やかに選んでいました。

みなさんが選んでくださった中で、1番人気だった「ぼうぼう」に決まりました！！名前を考えてくださったみなさん、ありがとうございました。



お母さんや学生の中には初めてウーパールーパーを観るという方も



おり、子どもと興味津々！「懐かしいね」「結構大きくなるんだよね！」「あっ！動いた！」「エサをあげたい！」と賑やかな会話も聞こえてきます。また、1歳くらいの子も水槽が気になるようで、じーっと眺めています。

廊下に小さな水槽を置いたことで、以前よりも学生がたいむの前で立ち止まることが増え、子どもたちとかかわる様子がみられるようになりました。

「ぼうぼう」の成長をみんなで見守りながら、これを機に子ども・保護者・学生・スタッフみんなが交流をもてる空間になればと思っています。(本田)

■さつまいも&夏野菜(きゅうり・とうもろこし)の苗植えをしました■

5月14日(木)短大中庭の畑で苗植えをしました。前日の台風の影響で朝からとても暑いく、4組9名の親子が参加してくださいました。

今回たいむ初の試みで、苗を植える前に実物のさつまいもを「見て・触って・食べて」みました。小さな子どもたちに「お芋の苗を植えるよ！」と言葉で伝えるよりも、「食べる」ということを通して「こんなに美味しいお芋になるんだよ」「大きなお芋になると良いね」と、少しでも想像ができるようにという思いがあったからです。当然のことながら、見るよりも、ふかし芋にしたさつまいもを食べる方が子どもたち(1、2歳の子どもたち)には嬉しかったようです。美味しそうに沢山食べてくれたので、それだけで十分ですね。また、お母さん方も初めてお会いしたとは思えないほど、会話も弾んでいました。

お芋をたくさん食べて力をつけたら、いざ畑へ！！お母さんが苗を植えたところに土をかけてあげたり、何度もじょうろに水を汲んでは畑に水をやっていました。そんな小さな姿がとても微笑ましかったです。子どもたちのメインは土・水あそびでしたが、楽しんでくれたのでよかったです。みんなで畑の水やりや草取りなどでできれば良いなと思いますので、たいむに遊びに来たら是非畑にも足を運んでみてください。収穫までの畑の様子も楽しんでいきたいですね。(本田)



■わらべうたサロン■

5月22日（金）短大教員の古山先生による「わらべうたサロン」がありました。2回目ということで7組の親子が参加してくださいました。第2、3子のお子さんが多く「ゆっくりとスキンシップをとってあげる時間がないので、この時間は嬉しいですね」と言ってくれるお母さんもいらっしゃいました。



また、自分のお子さんだけではなく、よそのお子さんを一緒に見合い、あやしなからゆったりとした楽しい雰囲気になりました。お母さん方から古山先生に質問をしたりお話をたのしんだり、とてもアットホームな感じです。次回のわらべうたサロンも楽しみです。



■H26年度事業報告・H27年度事業計画を間もなく発行■

利用者向けのH26年度事業報告・H27年度事業計画を発行します。本通信では、簡単にH26年度の事業報告から抜粋して概要をお知らせします。詳しくは報告書をご参照ください。（石井）

■26年度事業報告

○H26年度の事業計画の柱（詳しくは報告書をご参照ください）

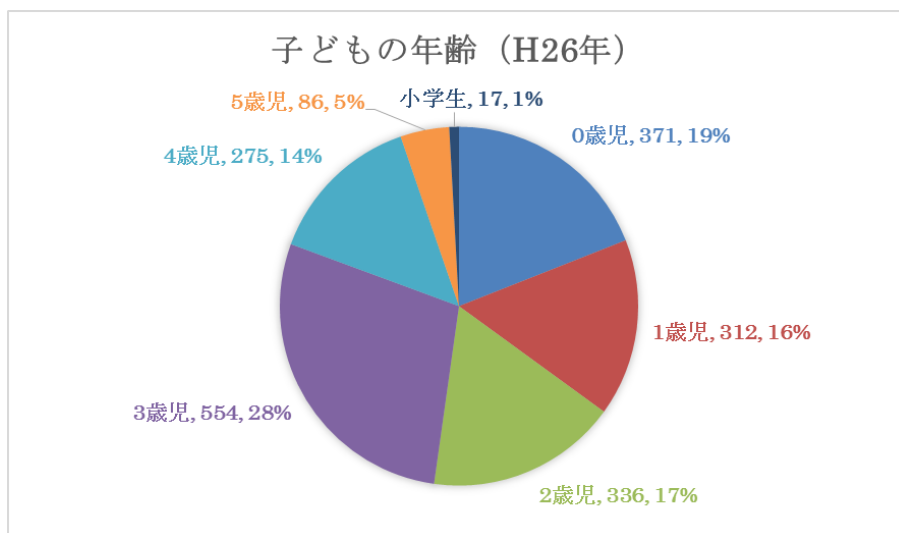
| 26年度の事業計画で盛り込んだ柱 | 達成状況 |
|--|---|
| ① 通常の時間「たいむ」の活動の充実・整理・再構成 ・スタッフが育つ仕組みづくり（OJT） ・一時保育の拡大 ・これまでの実践をまとめ、実施手順やマニュアルの作成 ・内外の環境整備 ・内容の充実 | ○スタッフの育ちの仕組みは検討課題／ ○一時保育拡大は、26年未実施・27年5月より実施（ミテテ+）／マニュアルや環境整備は現在作成中／○内容の充実は、利用者の減少から原因を考察中 |
| ② 学生が育つ仕組みづくり | ○学生の育つ仕組みづくりは、おおむね達成できた（あ・そ・BU等の実践） |
| ③ 幼稚園や他機関との協働・連携 | ○めいとクラブに通年で参画し、園庭開放を2回行ったが、「協働」には遠い。 |
| ④ 子育て当事者が主体的に課題等の解決ができるような機会・仕組み作り | ○未実施→27年度継続課題 |

○H26年度の利用状況

前半は、1日15～19人の利用者数であったが、9月・10月に急激に一桁台に落ち込んだ。後期はゼミの活動である「あ・そ・BU」がはじまったが、あ・そ・BU開催日の利用（15回）は、平均29.07人となっているが、他の通常開室時は行事等の開催時以外はまばらであった。たいむでは、利用者数の限界を同時刻利用25名以下と考えている（ロッカーの数もそれに合わせて設定している）が、常時誰かが過ごしている場でなければ存在価値はない。利用者数の挽回は、急務である。

◆H26年度 育ちあいのひろばたいむ 利用者数

- 総開室日 233日
- 利用者数 3360人（保護者 1409人 子ども 1951人）
- 平均来室数 14.42人（最多；5月：19.00人 最少；10月：7.48人）
- *学生主催広場「あ・そ・BU」（15日 436人 平均29.07人）



小学生 17人（1%）
 5歳児 86人（5%）
 4歳児 275人（14%）
 3歳児 554人（28%）
 2歳児 336人（17%）
 1歳児 312人（16%）
 0歳児 371人（19%）
 *3歳以上児は H25 年度と変わらない数であったが、2歳児が-298人（-10%）であった。

■たいむ主催の主な企画

- 前期** イモ苗植え（5/16;22組 54名）、園庭開放（5/28;15組 22名/11/:）、水遊び（6~9月）、どじょうつかみ（7/25;15組 42名）、流しそうめん（7/31;36組 97名/8/6;14組 36名）、学園祭（8/2）、BBQ（8/29;5組 13名）
- 後期** いもほり（10/17;18組 39名）、大百池公園散歩（3組 6名）、もちつき会（1/17;10組 27名）、あみぐるみ講座（3/3;4名/3/10;6名）おつかれさま会（3/12;6組 15名）

■利用者企画

| | | |
|-----------|-------|-----------------------|
| 6月 | プラ板制作 | プラ版の制作を保護者が主催して行った。 |
| 5/27~6/27 | 洋服交換会 | 子ども用、大人用の衣類を無料で交換する企画 |

■中学生職業体験

| | | |
|----------------|----------|----|
| 11月12日・13日・14日 | 生浜中学校 | 4名 |
| 11月19日・20日 | おゆみ野南中学校 | 6名 |

○H26年度の評価・課題

- ・利用者数の減少が大きかった。求められる姿になっていない。早急な原因の究明と対策が必要。
- ・学生主催の「あ・そ・BU」は効果的であった。しかし、日常的なかかわりはまだ少ない。
- ・幼稚園や地域との協働が少ない ・情報発信 ・未達成のものへのチャレンジ
- ・スタッフの育成 ・統括責任者の不在